



生石まちづくり通信

〈第30号〉

※QRコードでまちづくり通信を！



生石地区まちづくり協議会

発行責任者：八木 昭憲

編集責任者：門田 慎二

松山市高岡町860-67

TEL/FAX：971-2975



(2023. 10. 12 at 垣生山山頂)

我がまちの魅力・海と空港があるまち！

生石地区まちづくり協議会 十年のあゆみ記念誌に！

「楽しく・住みやすいまちへ」
ひとりひとりが主役になって！

記念誌編集委員会

載せる予定です。

「生石地区まちづくり協議会」は来年度、設立十周年を迎えます。そこで、それを記念し、この十年間のあゆみをまとめた記念誌「10年のあゆみ」を発刊することになりました。現在、令和六年六月の発刊を目指して、記念誌編集委員会で編集作業に取り組んでいます。

掲載内容は、各部

(生活安全部・環境部・福祉部・教育文化部・広報部・垣生山整備部)が、この十年間実践した活動を中心にまとめています。

そして、その他に、設立までの経緯、まちづくりの基本目標・計画、地区の概要や生石地区の史跡等の紹介も

生石地区の住民の皆様はもとより、他の地域の方々に「生石地区まちづくり協議会」がどのような取り組みをしているか、より理解を深めていただけたらと思います。



生石の宝もの！

⑩ 史跡巡りマップ『弓敷天満宮』



生石地区には、菅原道真公一行が履を脱いで長旅を癒したことが由緒となっている「履脱天満宮」があり、毎年2月初旬には例大祭がおこなわれ賑わいます。



「弓敷天満宮」は、松山市の路線バス、高岡・三津浜港線で「高岡天神前」で下車し、徒歩5分ほどの所にある小さな社。延喜元年(901年) 学問の神様菅原道真公(官公)が右大臣から太宰権師(だざいごんのそち)として福岡の大宰府へ左遷されたとき、海が荒れ流れ着いたのが越智郡桜井の志島ヶ原松林の浜。その後桜井より陸路で訪れたのがこの地「高岡」。このとき獵師たちが弓を敷いて歓待し、のちに建立されたのが弓敷天満宮であると云われています。現在の拝殿は、太平洋戦争時米軍の砲弾を受けても倒れなかったという不倒の拝殿と云われ、近年、床板も張り替えられ、参道も綺麗に改修されています。また、拝殿左奥には大きなクスノキがあり、大きな枝葉が弓敷天満宮を守るがごとくそびえ立っているこのクスノキ、松山市の第8号指定保存木として指定されている御神木です。推定樹齢はおよそ450年とも言われていて、最近ではちょっとしたパワースポットとして神社めぐりの仲間うちでは名をはせているようです。

石本 隆廣(記) (参考文献：ふるさと歴史散歩・他) 1面

＜豆ちしき＞

芋炊き作ってみませんか!?

＜材料＞	4人分	〇 干し椎茸	4枚
		〇 こんにゃく	2枚
		〇 鶏肉	250g
		〇 だし汁	600cc
		〇 油揚げ	2枚
		〇 塩	少々

A	砂糖	36g
	薄口醤油	50cc
	みりん	20cc



- ① 里芋は皮をむき、塩もみしてぬめりをとる。
- ② 鶏肉は一口大のぶつ切り、油揚げ三角に切り油抜き、干し椎茸は水に戻し大きめのぶつ切り、こんにゃくは茹でて三角に切る。
- ③ 鍋にだし汁を入れ煮立ててAで味をつけ、材料を入れ煮込む。

生石地区のまちづくり・垣生山の里山化目指し 歩んだ9年間のあれこれ！ (その一)



垣生山ロケ(2015. 3. 25)

2015年11月21日に封切られた高橋玄監督の映画「陽光桜」のロケ地として、主演男優の笹野高史さん、その息子役の的場浩司さんを垣生山に迎えロケ(2015. 3. 25)が行われました

この映画は、戦時下で青年学校の教員だった高岡正明さん(現東温市)という方のヒューマンドラマです。戦地に送りだした教え子たちが、戦禍で尊い命を落とし、自責の念に駆られ、教え子たちの慰霊と平和の願いを込めて亜熱帯から極寒のシベリアなどどんな気候の土地でも花を咲かせる新品種の桜の開発に生涯を捧げ、開発されたのが陽光桜だといわれています。



石鎚山系に登る初日の出(2016. 1. 1)



初日の出を待つ参加者

初回「初日の出観賞登山」は2016年元旦から始まりました。年々参加者は増え、元旦の朝は「初日の出登山」が定着。ただ、2021年からは新型コロナウイルス感染症拡大のため当協議会としての登山募集は中止してきましたが、コロナ禍においても元旦の朝は垣生山へ！と足を運ぶ方は多く、2023年元旦もおおよそ180名の方々が初日の出を堪能しました。



垣生山の標高は118m。登山口は、北吉田側、高岡側にそれぞれあり、登山道入り口より要所要所には、頂上までの道のり標記があります。各国の国旗とことばで標記されていて、山頂の東屋には全ての道のり標記の国旗一覧もあります。



ブロックに道のり標示！



第一回真夏の垣生山登山



真夏の垣生山制覇記念！

第1回「垣生山に登ろう会」は、2016年に新しく制定された祝日「山の日」(毎年8月11日)に因んで、身近な垣生山についてもっと多くの人に知ってもらおうと、教育文化部の主催で行われ、52名が参加。その様子は「愛媛CATV」のたうんニュースでも紹介されました。



頂上まであと少し！

三世代交流「生石ふれあい食堂」開催！

福祉部では、かねてより地域の三世代交流の場として「生石ふれあい食堂」を計画し準備を進めておりましたが、コロナ禍の影響で開催が延び延びになっていました。このたび9月30日(土)生石公民館においてサポーターのみなさんの手助けを得て、楽しく開催できました。大人・子どもたち15名の参加があり、メニューは部員手作りの「ハヤシライス(サラダ・デザート付！)」みんな笑顔で食卓を囲みました。

食事の後は、子どもと大人いっしょになって、生石保育園の保育士さんの協力のもと、「輪投げ、風船ふわふわゲーム」など楽しいひと時を過ごすことができました。今回の参加は、インターネットでの募集で、予定人数におよびませんでした。併せて他の方法でも呼びかければ多くの参加が見込まれる手応えを感じました。初の試みでしたが、帰り際に皆さんから「美味しかった！」「楽しかった！」「次も参加したい」との言葉をいただき、開催して本当によかったと思いました。励みにもなりました。

福祉部長 山宮 政行(記)



わきあいあい笑顔で食事！

新メンバー募集中！

生石地区まちづくり協議会では、住みよいまちづくりを目指し、様々な活動を行っています。そこで、より多くの皆さんに活動に加わっていただき、地域のニーズにこたえていきたいと考えています。このまちを「より良くしたい」という志のある方を募集しています。

【募集要件】

生石地区にお住いの年齢・性別を問わず、生石地区のまちづくりに関心を持ち、志をお持ちの方を募集いたします。

【お問い合わせ先mailAD用QRコード】



わが町の獅子舞・伝統芸能をつないで！

北吉田町の大人獅子舞



北吉田には大人と子どもの獅子舞があります。大人の部は大人11名、中学生5名が参加し、責任者野鳥映志さんの指揮のもと9月から8回の練習をしました。演目は「おきて」「さらし」「三番叟」とあり、無病息災と豊作を願って舞っています。秋祭り当日、金刀比羅神社でも地域の方が大勢見守る中で力強い舞を披露し、盛大な拍手を受けました。藤井智恵(記)



公民館での練習



金刀比羅神社での本番

富久獅子舞保存会



富久の獅子舞は『神楽舞』を取り入れています。今年は、小学生5名、中学生5名、高校生3名、大学院生1名、大人3名と各年代のメンバーで構成されました。会長川口博幸さん、副会長川口広成さんの指導のもと、8月1日からお盆も休まず12回の練習をしました「尾獅子しかしていなかった高3生がみんな獅子舞の頭もできるようになりました」とのことでした。

祭り当日幸富久荘では、迫力ある舞を入所者の皆さんに披露し、たくさんの拍手が送られました。藤井智恵(記)



公民館での練習



幸富久荘での本番

北吉田町の子ども獅子舞



子ども獅子舞は、おやじ、孫、サル、キツネ、イノシシ(獅子)、狩人らが、五穀豊穰を願って演じます。

今年は32人の子どもたちが6月末から18回の練習を重ねて本番を迎えました。「獅子は大変だけど楽しい達成感がある」「サルはお面をかぶりながらの後ろでんぐり返しが難しい」「キツネの耳立ちができるようになったので、みんなの前で踊るのが嬉しい」「バチを握る手は痛いけど、ずっと太鼓がやりたかったのが楽しい」と、どの子もキラキラの笑顔です。大勢の大人のサポートがあり、責任者の野鳥映志さんは「コロナで3年間途切れたが、伝統をつなぐことができた」と安堵されていました。老若男女がそれぞれの思いと誇りを持ってつないだ子ども獅子舞、圧巻でした。崎山美穂(記)



公民館での練習



登場



キツネの耳立

高岡町獅子舞保存会



高岡町の獅子舞は、松山市でも一番古い獅子舞のひとつで、関ヶ原の戦いの時代より続いていると伝え聞いているそうです。メンバーは舞方・太鼓方合わせて17名。現在活動は秋祭りの奉納舞が中心になっており、祭りが近く9月半ばから毎日練習が行われます。

高岡町の獅子舞は獅子の舞のみで構成されており、演目は4つほどあります。現在保存会ではその中の『並獅子』という舞いを伝承しています。この舞をお祭りの披露で見逃した方は、YouTubeでご覧いただけます。

栗原葉子(記)



パリュウでの本番



公民館での練習



センターでの練習



南吉田センター前での本番

※本ページの各QRコードから各町の獅子舞動画がご覧いただけます。

南吉田町獅子舞保存会



保存会の会員は大人4名、高校生2名小中学生10数名。皆さん会長の西本健一さんの指揮の下、和気藹々の雰囲気の中で楽しく頑張っていました。南吉田の獅子舞は古い歴史があり、コロナ禍で舞えない期間がありましたが、今年はその分張りきっているようです。

獅子舞は神輿と一緒に周り、町民の無病息災と各家の繁栄、作物の豊作を祈る役割を担っています。祭り最後は、途中で交代しながら全曲舞いました。若い方も頑張っています。

長谷川妙子(記)

医療法人ミネルワ会
老人保健施設ミネルワ
松山市高岡町302-2
TEL 972-9500

えひめ中央農業協同組合
生石支所
松山市高岡町841-1
TEL 972-0057

内科・消化器科・外科
医療法人河原医院
松山市高岡町630-3
TEL 971-2025

笑顔のあふれる病院～
医療法人結和会 松山西病院
休診：日曜/祭日・木曜午後・土曜午後
松山市富久町360-1
TEL 972-3355

仕出し料理
やまのべ
〒791-8042
松山市南吉田町618
Tel.968-8088 Fax.968-1818
0120-932-555
https://yamanobe-group.net/

愛媛銀行
空港通支店
松山市高岡町79-2
TEL 971-9200

ベルモニー会館 空港通
家族葬から一般葬、社葬まで
葬儀事前相談随時受付中
南吉田町1446-1
Tel.974-4441

株式会社キドケン
増改築・リフォーム
松山市久保田町59-29
☎(089)904-4908



お楽しみステージでダンスや演武・日本舞踊など披露!



9月23日(土)松山空港において、恒例の「空の日フェスタ」が開催されました。

主なイベントは、空港内バスツアー、フライトシミュレーター体験など様々な楽しい企画が用意され、たくさんの来場者でにぎわっていました。

生石地区まちづくり協議会は、空港2階、搭乗ロビーでお楽しみステージに参加し、中元会館道場生による空手演武や生石保育園児による元気なソーラン節ダンス、伊予民謡茂弥教室による日本舞踊などを披露。搭乗ロビーには、搭乗者やフェスタ参加者が大勢つめかけ賑わっていました。



※上記QRコードからスライドショーをどうぞ!

伊予民謡茂弥教室の皆さんの華麗な舞!



元気いっぱいおどりました!



中元会館道場生が力強い演武を披露

心奪われ!垣生山に登るのが日課に?!

「垣生山に登るのが日課!」登らない日が殆どないという垣生山公園管理協会員で、高岡町にお住いの西高伸一さん。特にこれからの季節、秋から冬場にかけてその思いが高鳴るといいます。今から5年くらい前、テレビでヤマガラに給餌をしている人の手のひらで、餌をついばむ姿を見知りました。垣生山公園で掃除をする傍ら、試しにヒマワリの種子を切り株の上に置いてみたところヤマガラがいると飛来し、種子の補充を繰り返していたある日、手のひらにヒマワリの種子を乗せ待っていると、手のひらに来るようになったといえます。その後は、登るたびにポケットにヒマワリの種子を入れ、声掛けしながら待っていると2~3羽同時に来ることもあり、ヒマワリの種子をついばむ姿が愛らしく、心を奪われ毎日登るのが楽しくなったといえます。特に秋も深まり冬場になるとヤマガラの数も増え、ヒマワリの種子を差し出した手にヤマガラがきて「感動した!」と喜び登山者も増えてきているとのこと。皆さんも是非足を運んでみては如何でしょうか?



- 11/19(日) 生石地区防災訓練(西中)
- 11/26(日) スマイルボウリング大会
- 12/9(土) 親子ふれあいデー
- 1/1(月) 初日の出垣生山登山
- 1/7(日) 生石地区成人式(西中体育館)

4年ぶりの地区体育祭で心地よい汗と満足感!

10月22日(日)第50回生石地区体育祭が西中学校グラウンドにおいて開催されました。体育祭は、これまで世代を越えて地区で一丸となって楽しめる行事でしたが、今は考え方の多様化や仕事など、また4年ぶりの開催という事も重なり、参加者を募るのが大変だったようです。そんな中、集まってくださった皆さんは、懸命にプレイし、また勝敗とは関係ないところで競技に一生懸命向きあっている分館関係者の姿もあり心打たれました。正午前には閉会式も終了し、参加者の皆さんは、心地よい疲労感と満足感を得て帰途につかれています。総合・分館対抗リレー共に優勝は富久分館。準優勝は高岡分館、3位高岡団地分館でした。参加者の皆様お疲れ様でした。



松山市青壮年ソフトボール大会で準優勝飾る!

7月16日(日)、7月30日(日)に北条文化の森、北条スポーツセンターで24地区の公民館が参加して、第61回松山市青壮年ソフトボール大会が炎天下のなか開催されました。生石公民館はどの試合も大接戦でしたが、すばらしいチームワークで制し、決勝まで進むも残念ながら石井公民館に敗れました。来年こそは優勝旗を持ち帰ってくれるものと期待しています。選手の皆さん、たいへんお疲れ様でした。結果は、優勝:石井公民館、準優勝:生石公民館、3位:桑原公民館でした。



< 編集後記 >

「生石まちづくり通信」も節目の第30号を発行する運びとなりました。「生石地区体育祭」が4年ぶりに西中学校で開催され、「生石ふれあい食堂」も生石公民館の調理室を使用して実施されました。11月には「生石地区文化芸能祭」の芸能部門が開催されます。地域の活動も復活しつつあります。本紙の3面では獅子舞保存会の活動の特集しました。動画も見ることができますのでお楽しみください。門田 慎二(記)

※生石地区まちづくり協議会HP用

QRコード



※Facebook用

QRコード



※お気軽にアクセス下さい!